

日五十月三

常磐每日新聞

定価一冊金 一ヶ月五拾銭 郵費別
 廣告料五拾二文字 一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



狸湯の仇討

原作 江見水蔭
 脚色 木津茂太郎

【七】

○ 伴助飛び退つて殺力をのがれる。
 ○ 伴助斬り掛かる。
 ○ 伴助を胸切りにする半三郎。
 ○ 狸湯の湯壺の中へ落ちる伊羅伴助。
 ○ 湯のおもて。
 ○ 血汐に染まつてゆく。
 ○ 赤い色に。
 ○ 瀬川半三郎は田邊廳まで自訴した。
 ○ 半三郎は新政府の手厚い待遇を受けた。
 ○ 田邊廳から和歌山縣廳に移され、更に大阪裁判所に於いて、十年の刑を申し渡された。
 ○ として三年の後。特別寛典の下に假出獄！
 ○ 歩いてゐる半三郎。
 ○ 郷里三日月へ。
 ○ 喜んでゐる老母。妹との婿、親族たち。
 ○ 歩いてゐる半三郎。菅笠は帽子と變り、大小無しい、蝙蝠傘振分の桐油包みは靴となり黒羅紗の袴合羽當時のハイカラ姿。

○ 湯之峯へ。
 ○ 戀しい湯の峯へ。
 ○ 歩いてゐる半三郎。
 ○ 二階の部屋——先年と同じである。
 ○ 半三郎くつろいでゐるお照が眼前に浮かんで消える。
 ○ 主婦のお周が来て挨拶をして引下る。
 ○ お照は死んだのかしら
 ○ 同じ温度
 ○ でも、新
 ○ 湯は古い
 ○ 湯よりも刺戟が強い、老人や虚弱者の入浴には新湯はよくない。

ノート

○ 食事を持つて来た女中問ふ半三郎。
 ○ 女中——すつきりした女。
 ○ いえ、お達者で御座います。
 ○ もう此頃は下のお客の處へ附切でゐらつしやいますので。
 ○ かう云つて意味有りげに笑ふ。
 ○ 問ふ半三郎。
 ○ 下のお客とは
 ○ 女中。
 ○ 京の繪かきさんで御座います。
 ○ 半年から御滞在で……
 ○ 嘆息する半三郎。
 ○ 引下る女中。
 ○ 半三郎心に思ふ。

文藝募集

○ 親の敵は討つても、亦新たに敵は出来た。
 ○ 半三郎とお照廊下で行き合ふ。
 ○ 宿の娘が客に對して云ふ普通の挨拶である。
 ○ 林の中。
 ○ 京の繪師とお照が手に手を取つて歩いてゐるじつと立つてゐる瀬川

○ 半三郎。見送つてゐる繪師とお照の姿木の蔭に入つて行くので見えなくなる。
 ○ 樹。
 ○ 手が幹に置いてある。
 ○ 勿論半三郎の手。
 ○ 半三郎谷間の方へ行く狸の湯のほとりに立つじつとする半三郎。
 ○ 娘の心も狸の湯だ！

○ 明日の献立
 ○ 【朝】みそ汁—笹がきごぼ
 ○ う 人蔘
 ○ 【晝】にしめ—ほし大根
 ○ こぶ くわゐ
 ○ 【晚】南ばんむし—魚 玉
 ○ ねぎ こせう
 ○ 狸の湯。半三郎の側影がゆれる。【をばり】

産婆、看護婦

生徒募集

今、入學の好時期
 ……御希望の方は至急御申込みを……
 新學期は四月八日より

平南町

平産婆學校

校長 清野 清子
 電話三〇七番

内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
 入院需應
 平町紺屋町
 電話五〇七番

御贈答に
 記念品に
 諸景品に
 漆器を!!!

専門の



共は 誠實勉強
 親切第一
 在庫豊富

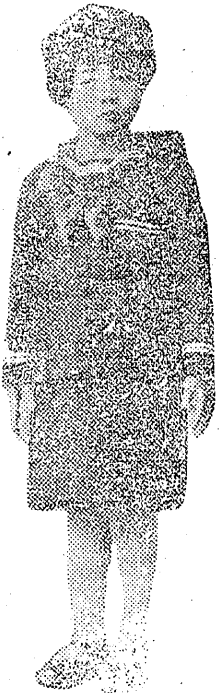
是非御用命を
 ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
 ル、アリモノミセ
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

漆器店

各産漆器 漆器店
 専門卸小賣
 十三四才位 小
 三十才迄位 外
 店員 交
 員

第二小學校 制服

新學期も近づきました
 お嬢ちゃんの御通學に
 運動に理想的な……
 當店特製の第二校制服
 をお奨めします
 生地・裁縫共に充分吟
 味して御座います
 上紺サージ製(スカート共)
 3圓60錢より



ふかや洋服店
 三平電203

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造 賣販
 赤菱印
 硝子 壺
 硝子 食器
 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

毎度御ひいき
 有難ふ御座ります
 うなぎの御用命は
 うなぎ 奴
 平町田町(電話二二番)
 ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

玉屋洋品店
 平町田町(電話六五六番)

入學難

依然緩和されず

警中警女共に志願者殺到

本日願書受付締切

磐城中等校及び磐城高等女學校にては本日正午限り本年度入學志願者の願書を締切つたが結果は警中が昨年より十八名減の三百六十七名、警女は昨年より二名増の三百七十五名にて定員を越すこと警中百十七名、警女百七十五名にて依然として入學難は緩和されず志願者は試験地獲の苦難を嘗めねばならぬ

善華會の

托鉢淨財

震災地へ送る

既報平佛教善華會にては去る十、十一の兩日今回の三陸地方に於ける大震災の罹災民を救済すべく町内を托鉢したるに至る處同情を博し金七十九圓餘を震災地へ送附したと

存廢何れ?

木炭組合の運命

來る總會で決定

濱三郡木炭同業組合では來る廿二日評議員會を開き翌廿三、四の兩日は組合總會を開會するが協議事項既記の如く木炭縣管検査の實施後の組合存廢問題に關し何れかの決定を見る筈であり當日は相當議論するものと見られて居るが組合員の八分通りは形骸的なりとも存置すべきであるとの強固な意見を持つて居ると

縣社々頭に

卒業奉告祭

平第二小學 校にては來る二十四日 午前九時より本年度卒業式を舉行するが卒業生は尋常科百七十四名、高等科百十七名にて式終了後縣社子歛倉神社々頭に於て卒業奉告祭を爲すと

勿來衛生組合

石城郡勿來町衛生組合では來る十九日午後一時より村役場に於いて役員會を開き幹部役員の改選を行ふと

人類愛の國防

人類愛善會平支部及び昭和青年會警城支部にては本日午後一時より平驛前世界館に於て國防講演會を催したが講師は人類愛善會顧問栗原白嶺氏

本郡の船大工が

震災地に引ツ張りタコ

震災地の宮城、岩手兩縣水産會では漁船復興の爲め船大工の應援を求め本縣水産會を通じて船大工の派遣方交渉中であるが郡下廿七名の船大工は目下昨年郡下を襲つた風水害の復興新造船工事に追はれて居るのでこれに形付き次第兩縣へ出稼する事になり大急ぎで毎日の仕事を追つて居ると

産業組合擴充の

映畫會を各所に

石城産業組合部會では組合事業の擴充を圖る爲め縣聯合會と協力して郡下各村に事業普及の映畫會を開催する事になつたが目下確定せる開催地は左の如くである
十八日(夏井)十九日(三坂)廿日(川前)

磐中及落判定 磐城中等學校に於て四年生以下

四倉校の

建築起債

即日認可さる

石城郡四倉小學校は教室狹隘の爲め八年度に於いて工費一萬五千圓を以つて現在の校舍に二階建八教室を増築すべく過般の町會で決定したので新妻町長は起債許可申請の爲め昨十四日出縣陳情せる結果即日認可され

平青訓が

卒業式舉行

平青年訓練所本年度卒業式及び修業式は來る二十一日第一小學校に於て舉行されるが修業生は井上忠君外三十八名にて卒業生は志賀榮一、山口正門の二君である

罰金代りに

留置場入り志願

平檢察局にては年度末に當るので過般來未納罰金六千餘圓の整理を行ふべく未納者に召喚狀を發したが本日迄の納入額は三千三百餘圓にて納入出來ず罰金代りに留置場入りを志願したのは二名あると

奉安庫建設許可 石城郡内郷村第三小學校では此程校庭に御眞影奉安庫を設置する事となり豫てより申請中の處去る十三日付を以て許可の指令に接した

磐女卒業生 磐城高等女學校にては來る十八日本年度卒業生の成績品展覽會を催し一般父兄を招待する

才判所情勢

緒方監督書記編成平區裁判所檢察局監督書記緒方新次郎氏は昨年夏頃より管内出張所の情勢並檢察事務概況を草案中の處本日完成し夫々管内出張所に送附したが内容は裁判所の沿革を主とし詳細を極めたもので書版百五十頁の大冊ものであると

豚コレラ豫防座談會を催すと
廿三日(勿來)廿四日(錦)廿五日(泉)

平映畫界

平館 松竹時代劇 尾上榮五郎 飯塚敏子主演
『關東綱五郎』松竹現代劇 田中絹代 竹内良一主演
『兄さんの馬鹿』日活時代劇 片岡千恵藏 伏見信子 山本嘉一主演 『元祿槍聲』
世界館 新興時代劇 結城重三郎 團徳藤主演
『劍客龜六』新興時代劇 高津慶子主演 『何が彼女を殺したか』新興時代劇 嵐寛壽郎主演 『右門取物帳三十番手柄』

園兒募集

一、募集兒 六拾名
一、規則書 希望者は當園に申入れ
一、入園期 四月五日
平町材木町

平信榮幼稚園

貸切の●●●

御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……………(マツサキ)
三九二タツシーへ!!!

匡救人夫が本社に 紙上表彰を切願す

桑原接骨院主夫妻の 隠徳に感激した餘り

昨日多數の労働者が本社を訪れて語る處に依ると、自分達は匡救事業の公園道路掘削工事に出勤して居る者ですが附近の桑原接骨院では毎日の様に香の物や菓子、豚汁等を御馳走して私共の稼ぎを儲つて下さいます。お氣の毒と存じ辭退するのですが「貴方達の働きで私共の通行が便利になるのですから……」といつも温い情けをかけてくれます。私共は有難くつて涙が出る程です。何とか御恩返しを致し度いと思ふのですが私共の身分ではどうにもなりませんから御

紙を通じて世には斯かる奇特な人もある事を傳へ、どうぞ紙上で表彰して下さい。

盗へき少年に 平署も持て餘す

主家の情けも無にして

既報孤兒の窃盗犯人として再三平署員を悩ました平町南町亡佐藤八二男留七(一)假名は平署員が將來を慮つて適切な職業につかせんと肝煎りした結果二丁目松崎自動車店主が同情し將來自動車運轉手に仕立やうと本月初旬店へ引取つて世話をしたが同人は去る十二日無断逃走し再び空巢視ひや窃盗に日を送り昨十四日午後二時頃平町南町伊坂古着店裏口より忍入り衣類十餘点を窃取逃走職品を市内某質店に入質した事から足が付き同夜十時頃南町酒井醫院附近徘徊中を平署員に取押へられたが他に餘罪が六、七件に及んで居るので流石の署員も持て餘まして居る。

不在中に 白米を盗む

石城郡磐崎村字藤原居住無職吹田正二郎(三)は十四日午後三時頃隣家の大塚春治方の不在中に忍入り白米及び木炭二俵を窃取自宅に運ばんとしたのを発見され駐在所に突き出され本日平署に押送取調中であるが多數餘罪ある見込み

空家から怪火 浮浪人等の所爲か

今曉月見町の小火

平町月見町二七根本精米所附近の空屋より今曉二時頃發火したのを通行人が発見して平署に急報したので自動車御筒が出動し大事に至らず消し止めたが空家からの發火である爲め平署では浮浪人等が瞬を取つた揚句の失火と睨み犯人を捜査中である

平裁判たより

▼双葉郡木戸村大字前原字濱場八番地貨物自動車業矢

平町月見町二七根本精米所附近の空屋より今曉二時頃發火したのを通行人が発見して平署に急報したので自動車御筒が出動し大事に至らず消し止めたが空家からの發火である爲め平署では浮浪人等が瞬を取つた揚句の失火と睨み犯人を捜査中である

明日のラジオ

十六日

今晩も明日も北西の風雲り

今晩の部

後六、〇〇 軍「伏見海軍司令部長官殿下奉迎の夕」
後七、三〇 講演「支倉六右衛門と林子平」第二高等學校長 阿刀田令造

後八、〇〇 合唱 宮城縣第一高等女學校生徒 伴奏 吉井采
後八、一五 管絃樂 東北帝大管絃樂團 指揮 森本太郎
後八、三〇 民謡 高橋え

明日の部

後九、一〇 御國淨瑠璃「繼信兄弟屋島の巻」鈴木幸龍
後九、三〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

前二、〇〇 家庭講座「草花の植え方と時き方」保田勳
後二、〇〇 五映畫物語「お蝶夫人」住吉夢岳
後二、〇〇 家庭大學講座

不在中に 白米を盗む

石城郡磐崎村字藤原居住無職吹田正二郎(三)は十四日午後三時頃隣家の大塚春治方の不在中に忍入り白米及び木炭二俵を窃取自宅に運ばんとしたのを発見され駐在所に突き出され本日平署に押送取調中であるが多數餘罪ある見込み

平裁判たより

石城郡上小川村大字上小川字川白四番地農田久喜一(三)は同村田久兼治と口論の末全治三週間の傷害を與へ去る十四日平區裁判所に於て罰金三十圓の略式命令に處せられたが不服にて本日門傳辯護士を代理人として正式才判の申立をなした

平職業紹介所報告

回人を求める方

△難夫 二十前後 月十圓位(茨城縣某)

△店員 二十三才 尋卒 給料面談(四倉町某)

△女中 十六才 尋卒 給料面談(平町某)

△豆腐賣子 四十才 尋卒

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡 回文庫

電六三〇番
申込次第(規則書進呈)

市原醫院

平町 田町
電話 一一四番

築港事件 取調べ進行し

復又二名釋放さる

既報小名濱築港事件に關し平刑務所に收容され豫審中の江名町鈴木省三、湯本町長岡義守の兩氏は此程審理一段落を告げ昨日各釋放されたが残るは榑木所長と高木武士の兩名のみにてこれも近く取調べ終了する模様である

火薬隠匿 坑内より持出

石城郡好間村字町田居住坑夫佐藤三治(七)は去月末友人たる古河炭礦坑夫植村米五郎(四)が坑内より持出した火薬三本を密漁の目的で買取り自宅に隠匿し

好間震災義捐 石城郡好間村青年團では三陸地

郡好間村青年團では三陸地

茶室

【禁演上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
佐々木見山

第二百八十九席
女をたづね兩國へ

松崎采女に渡邊金彌は殿様の乗馬を二人の女に欺き取られ邸にスゴ／＼立戻つたが、これが公然になつては大變、女の行術を尋ねて取戻さねばならぬ、然しあの女は何處の者か、武家に人となつた者ではないと申して居つたが、町家の者にて馬術の心得あるのは合點のゆかぬ事、何にしても尋ね出して馬を取戻さねばならぬと松崎采女、渡邊金彌は江戸市中を其處か此處かと尋ねたが雲を掴むやうなもので目的がないから無駄に歩いてゐる、スルと馬丁が

馬「松崎さん殿様は明日松風をせめるさうでございませ、明日はあの馬を馬場に引出さねばなりません、それまでに見當りますか」
松「そいつは困つたな、なんとかして松風を出さぬやうにして貰ひたいとて今日中に馬を取戻す事は出来ぬ」
馬「こんな事になつたもお前さん方が悪いからだ、出来もしねえくせに殿様の御乗馬なぞに乗るからこんな事になる」

松「今更そんな事を申せばとて馬は戻つて参るまい」
馬「それでは斯うしませう、松風も小櫻もナイラが發つて苦しんでゐるとお馬役様まで申上げて馬場へ出さぬやうにいたしませう」



ことによると腹を切る様な事にもなる、さう云へば二人とも影が薄い」
松「不吉な事を申すな」といつたやうなものゝ、これが殿に知れては一大事一日も早くこの解釋をつけねばならぬと渡邊金彌と共に松風の小櫻は何れに居るか馬は何處に居るかと江戸中を駈廻るこれは人の集まる所に參つて尋ねたならばわかることもあらうかと先づ兩國へ出て來ました、此處は江戸の盛り場といふ程、日の出るから日の入るまで橋を中にはさんで東西とも人の足の絶えないそれも

松「よろしく取計らひくれさあこれで一杯飲め」
金を與へる
馬「これは有難うございませ、この事が公然になるとお前さん方は重いお咎めを受けるでございませう、閉門位ひではすみますまいやうにテラ、光つてゐる

すな／＼の繁昌橋の袂に水茶屋があつてこれを並茶屋といふ並び茶屋といふ程ですから軒を列ねてゐました、櫻屋だとか梅本だとか松島、嬉し野など書いた行燈を掲げ茶釜は眼でこしらへたやうにテラ、光つてゐる

茶屋と茶屋との間には巾三尺ばかりの板が境界、それですから隣の茶屋にゐる客人も直に見える兩國の近傍に居る若い衆は遊びに行つたその朝歸りに湯に入つてそれからこの並茶屋へ來て、忌儀棚に供へてあるお供へをもらつてこれを焼いてたべて腹をこしらへるなどといふ經濟的な人もある、茶屋の女は皆年の若い麗性も、うツすりお化粧をしてさつぱりした着物を着て來るお客にお世辭を振まいてゐる、この客の中で女を引出して本能を遂げようなどといふ危険思想を抱いてゐる者もある、其等は女の住ま居に行つて

○「どうだ、えみいちやん大層芝居がよいといふが明日市村座へ行かうぢやねえか」
なぞと誘ひをかける
みい「有難いねえ、わたしも行きたいと思つてゐるんですよ、ねー阿母さん、金さんが芝居につれて行くといふが行つてもよいかね」
こう聞くとこの母親が、この男に娘をまかせせるは危険それに相手は金が無さうだ、こゝは断るべしと思つたがいけませんとは云へない
母「行つてもよいと思ふが化石さまに伺ひをたて、見ようから」
と忌儀だににある石へ手を掛けて
母「よしだがよからう大層化石が重いから金ちゃんに怪俄でもあると、大變だから」

斯う云ひます、金公も腹は立つが石を相手に喧嘩をするとは出来なない、いめえましい奴だとその晩此處へ石を抱込むも、これがいしがへしの元祖だといふがこんな事は辭書にも出てゐない、江戸時代にはかういふ奇策を用ひて危険な客を撃退した。

平町二丁目

三井タクシ

電話六八五番

淋病 皮膚病 婦人病 胃性

松村

院醫科 腸病 胃性

〇七一話電

生徒募集

一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス
一、申込期日 四月八日迄

平町一丁目

石城 產婆學校

校長 應崎千代
電話三五七番

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

產婦人科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學士 内木宗八
內臟外科 器泌尿科

江戸前料理

見習さん募集
十五歳より二十歳迄

錦水
電話四五四番

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舗
平町二丁目 電三